

1. 科目名 (単位数)	図画工作科指導法 (2 単位)	3. 科目番号	SJMP2295 SJMP2395
2. 授業担当教員	森本 昭宏		
4. 授業形態	講義、演習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	図画工作 I・II の単位を修得した後に履修することが望ましい。		
7. 講義概要	図画工作科教育の目標、育成を目指す資質・能力、「造形的な見方・考え方」を働かせる学習内容及び学びの方法についての概説や具体的な事例を通して、学校教育（公教育）で美術教育がおこなわれる教育的意義について理解を深めていく。併せて、授業分析や授業デザインの演習、模擬授業を通して、授業の組み立て方や評価規準設定の視点、指導案の書き方、指導方法について習得を目指す。		
8. 学習目標	1.図画工作科の目標及び育成すべき資質・能力や学習内容を理解し、その特質と教育的意義を説明できる。 2.造形表現の発達段階及び学習者の多様性について理解し、子どもの実態に合わせた指導について考えることができる。 3.図画工作科における主体的・対話的で深い学び場づくりについて理解し授業設計することができる。 4.学習指導案作成上の留意点を理解し、自ら選択した題材について学習指導案を作成することができる。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	1 ポートフォリオの作成 (毎時間) ※詳細は第1回のガイダンスで説明する。 2 【レポート課題①】子どもの絵画造形表現の発達段階について (顔・建物・樹木など) 調べたことをまとめる。500字～ 【レポート課題②】対話型鑑賞教育の各活動 (学校教育又は美術館の取り組み) について、感想をポートフォリオにまとめる。500字～		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 宮脇理 監修, 福田隆真他編著『美術科教育の基礎知識』建帛社。 文部科学省『小学校学習指導要領解説 図画工作編』文部科学省。 森本昭宏・浦野弘『ICTを活用した小学校デジタル教材アイデア 66』ジダイ社。 【参考書】 造形授業研究会編『図工の授業をデザインする』東洋館出版社。 文部科学省『小学校学習指導要領』東京書籍。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1.図画工作科の目標及び育成すべき資質・能力や学習内容を理解し、その特質と教育的意義を説明できるか。 2.造形表現の発達段階及び学習者の多様性について理解し、子どもの実態に合わせた指導について考えることができるか。 3.図画工作科における主体的・対話的で深い学び場づくりについて理解し授業設計することができるか。 4.学習指導案作成上の留意点を理解し、自ら選択した題材について学習指導案を作成することができるか。 ○評定の方法 授業内の課題…30% ポートフォリオ…40% 最終課題…30%		
12. 受講生へのメッセージ	子どもの表現に関わる資質・能力をバランスよく育成させるためには、造形遊びや工作の活動、絵や立体の中で、子どもが納得するまでつくりだしていくことが大切である。特に再構成 (つくり、つくりかえ、つくる) を満足のいくまで持たせる学習活動が必要であろう。このことは造形指導をする指導者にも、幅広い経験と深い学びが必要であると考える。今までの演習に併せて、実際に教育現場で指導することを想定した、実践者としての視点で捉えていく。図画工作 I・II の単位を修得した後に履修することが望ましい。 【注意事項】 1. 模擬授業等の活動で用いられる様々な工作や絵の材料・用具は、各自が準備すること。授業内で随時伝えていく。 2. 講義に付随して水彩絵の具などを使用することもある。その場合は汚れても良い服装で出席すること。		
13. オフィスアワー	別途通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	ガイダンス：講義の目的・概要及び評価について／「図画工作科」は何を学ぶ教科なのか①ーこれまでの学習経験のふりかえりー	事前学習	「私の図画工作科の経験」を記述してくる。
		事後学習	学習したことをポートフォリオにまとめる。
第2回	「図画工作科」は何を学ぶ教科なのか②ー子どもの具体的な姿から考察するー【視聴覚教材の鑑賞＋グループディスカッション】	事前学習	学習指導要領解説 pp. 9～p. 16 を読む。
		事後学習	児童の造形活動の映像を見て、感想を記入する。
第3回	図画工作科の歴史の変遷と内容概観-目標、資質・能力、教科内容、カリキュラム構造、評価規準、教育的課題について 【講義】	事前学習	学習指導要領解説 pp. 1～8、テキスト pp. 2～5 を読む。
		事後学習	学習指導要領ワークシートを活用、特に「評価基準」について理解を深める。
第4回	造形表現領域の発達段階の理解と児童の個性・多様性を保持した学習環境デザイン 学習指導要領 (図画工作) について 【講義】	事前学習	テキスト p. 52～53 を読む。
		事後学習	児童の絵画発達段階について学んだことをまとめる。学習指導要領を読む。
第5回	図画工作科の内容と教育的意義 1 A 表現ア「造形遊び」ー演習と観察 【演習＋ペア学習】	事前学習	テキスト pp. 58～65 を読む。
		事後学習	【レポート課題①】造形遊びについての気づき、感想をまとめる。(800 字程度)
第6回	図画工作科の内容と教育的意義 2 A 表現ア「造形遊び」②ー学習過程の分析と授業評価及び遠近法について 【講義＋グループディスカッション】	事前学習	レポート課題の準備
		事後学習	高学年ー遠近法についての理解を深め、絵に表す。
第7回	図画工作科の内容と教育的意義 3 A 表現イ「絵や立体、工作に表す」①ー美術教育のマニュアル化を考える	事前学習	テキスト pp. 179～180 を読む。
		事後学習	【レポート課題②】美術教育におけるマニュアル化

	【講義＋グループディスカッション】		についての考えをまとめる。(500字程度)
第8回	図画工作科の内容と教育的意義4 A表現イ「絵や立体、工作に表す」② ー表現と鑑賞活動の関連性を理解する 【演習＋講義】	事前学習	テキスト pp. 90, 95, 141 を読む。
		事後学習	美術館鑑賞教育普及活動など、学習したことをポートフォリオにまとめる。
第9回	図画工作科の内容と教育的意義5 A表現イ「絵や立体、工作に表す」③ ー学びを深めるための視聴覚教材の活用ーワークシートのデザインと教材及びICT活用法 【演習＋講義】	事前学習	第8回の制作課題を終わらせる。
		事後学習	学習したことをポートフォリオにまとめる。
第10回	図画工作科の内容と教育的意義6 B鑑賞アーことば・対話・身体・感覚による鑑賞の体験的理解と授業デザイン 【講義】	事前学習	テキスト p. 138～140, p. 142 を読む。
		事後学習	【レポート課題③】対話型鑑賞教育についての考えをまとめる。(500字程度)
第11回	指導案作成① 題材研究及び授業展開の構想(絵の具と水のハーモニーなど) 【演習＋講義】	事前学習	テキスト pp. 171-174 を読む。
		事後学習	ワークシートに題材を経験して得た気づき、指導する際の「ねらい」「教師の支援」についてまとめる。
第12回	指導案作成② 題材観及び評価規準の設定、授業展開の再検討 【演習＋講義】	事前学習	ワークシートに授業展開をまとめる。
		事後学習	児童の学習活動・本時の展開を完成させる。
第13回	指導案作成③ 導入方法と展開を検討する 【講義】	事前学習	導入の方法と展開など準備を進める。
		事後学習	模擬授業に向けて材料などを準備する。
第14回	模擬授業と授業研究会②(後半グループ) 【グループディスカッション】	事前学習	模擬授業の準備(参考作品、資料、ワークシートの作成など)
		事後学習	模擬授業を実施しての気づきをポートフォリオにまとめる。
第15回	ICTを活用した様々な造形表現(小学校現場)の紹介(Jamboardを使った題材など)と活用について。授業のまとめとふりかえり。	事前学習	これまでの学習内容をふり返し、図画工作科の目標と意義を自分の言葉でまとめてくる。
		事後学習	ポートフォリオにこれまでの学習をまとめる。第15回の授業内で出される最終課題を完成させる。
期末試験			